

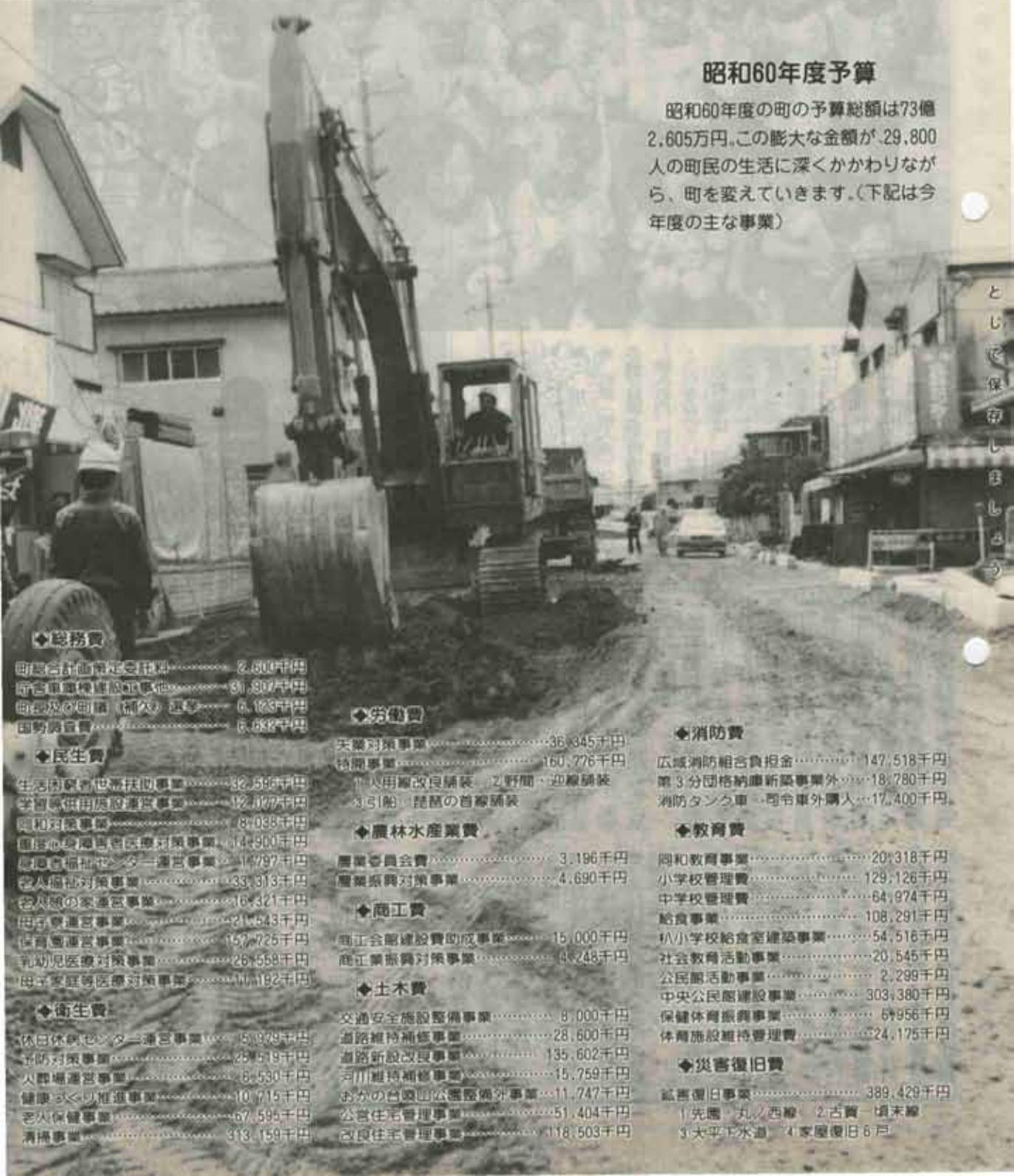
4月10日

第570号

毎月10日・25日
福岡県遠賀郡
水巻町発行

昭和60年度予算

昭和60年度の町の予算総額は73億2,605万円。この膨大な金額が、29,800人の町民の生活に深くかかわりながら、町を変えていきます。(下記は今年度の主な事業)



◆総務費

町長会計面積定査料	2,600千円
町長車輌建設工事他	31,907千円
町役場及び町議会議事室等	6,123千円
国勢調査費	5,633千円

◆民生費

生活困窮者世帯扶助事業	32,596千円
学習用供用施設運営事業	12,017千円
団結対策事業	8,038千円
重慶市立障害者医療対策事業	14,900千円
重慶市立福祉センター運営事業	14,797千円
老人福祉対策事業	33,313千円
名八郎の家運営事業	16,321千円
田子寮運営事業	21,543千円
保健衛生運営事業	15,725千円
乳幼児医療対策事業	26,558千円
田子寮庭等医療対策事業	11,182千円

◆衛生費

休日休憩センター運営事業	5,929千円
子防対策事業	25,519千円
人間環境運営事業	6,530千円
健康づくり推進事業	10,715千円
老人保健事業	57,595千円
清掃事業	313,159千円

◆労働費

天職対策事業	36,345千円
待機事業	160,776千円
人用改良装備(2野間・迎線舗装) 3引船・琵琶の首輪舗装	

◆農林水産業費

農業委員会費	3,196千円
農業振興対策事業	4,690千円

◆商工業

商工会館建設費助成事業	15,000千円
商工業振興対策事業	45,748千円

◆土木費

交通安全施設整備事業	8,000千円
道路維持補修事業	28,800千円
道路新設改良事業	135,602千円
河川維持補修事業	15,759千円
おかの台園山公園整備外事業	11,747千円
公営住宅管理事業	51,404千円
改良住宅管理事業	118,503千円

◆消防費

広域消防組合負担金	147,518千円
第3分団格納庫新築事業外	18,780千円
消防タンク車・司令車外購入	17,400千円

◆教育費

向和教育事業	20,318千円
小学校管理費	129,126千円
中学校管理費	64,974千円
給食事業	108,291千円

小学校給食室建築事業	54,516千円
社会教育活動事業	20,545千円
公民館活動事業	2,299千円
中央公民館建設事業	303,380千円

保健体育振興事業	61,956千円
体育施設維持管理費	24,175千円

◆災害復旧費

益善復旧事業	389,429千円
1.先端・丸ノ西線 2.古賀一頃末線	
3.大平下水道 4.家屋復旧6戸	

昭和60年度町づくり予算スタート

予算総額73億2,605万円



健康で心の豊かな町づくりへ

一般会計

四十六億一千五百四十一万二千円

歳入

国の補助金抑制

二千六百万円減収

町の財源は、町税や使用料及び手数料などの町が自から確保できる自家財源と、地方交付税や国・県からの支田金、町債(借入金)など他から収入する佐賀財源などで構成されています。

税率の内、自家財源が予算の四

・三割を占めています。

☆町税は、前年度当初に比べ九・六倍増の十五億八千八百四十四万円を見込んでいます。賦課が上回って来たことは言え、本町の所得構造は類似市町に比べると低所得者が多く、土地評価替えを加味しても最終的には五・八倍の伸び率になる見込みです。

☆地方交付税は、前年度当初に比べ三・四倍増の十三億三千円を

見込んでいます。

☆国・県支出金は、前年度当初に比べ一千五十二万円の減で、国庫補助金の一割カットによる減収を約二千六百万円見込んでおります。

歳出

中央公民館建設

に着工(61年完成)

事業費六百四十万円であります。

☆繰入金は、前年度に比べ二億三千五百九十九万円の減で、これは鉛書復旧事業の減少による国・県・鉛書復旧事業団からの収入が減少したためです。

事業費には繰出額の二七・三%に当たる一千五百円、中央公民館建設事業費一千五百円、特定地域開発労働事業費一千五千万円、中央公民館建設費一千五百円、鉛書復旧事業費一千五百五十円、道路整備事業費一千五百五十円、鉛書復旧事業費一千五百円、教育施設の整備を行います。

次に目的別では、二十一世紀に向かっての町づくりを決める総合計画策定費を含んだ総務費が六億五千三百六十円、生活困窮者対策費、障害者の福祉、保育園の運営や各種健康診査、予防接種費などがあります。

一年間の町の施策を総括した昭和60年度予算が、三月の定期議会に成立しました。今年度の一般会計の予算総額は、四十六億一千五百四十一万円と前年度に比べ一七・六%の大幅な減額となっております。これは今後建設の大事業が完了したことが主な理由です。予算編成に当たっては、経常費の徹底した節減合理化を図りながら、文教、福祉、生活環境、コミュニティ施設などの充実に努め、限りある財源の効率的な配分に努めています。また四特別会計の予算規模は二十億八千三百四十四万円となっております。

種々の住民の健康づくりや福祉向上のための民生・衛生費に十億四千四百七万円を充てています。

また、失業者の雇用を図るための事業を行う労働費に二億二千八十六万円

商工会館建設助成を始めとする商工費及び農業振興のために七千三百四十六万円、道路・河川の整備や維持及び公

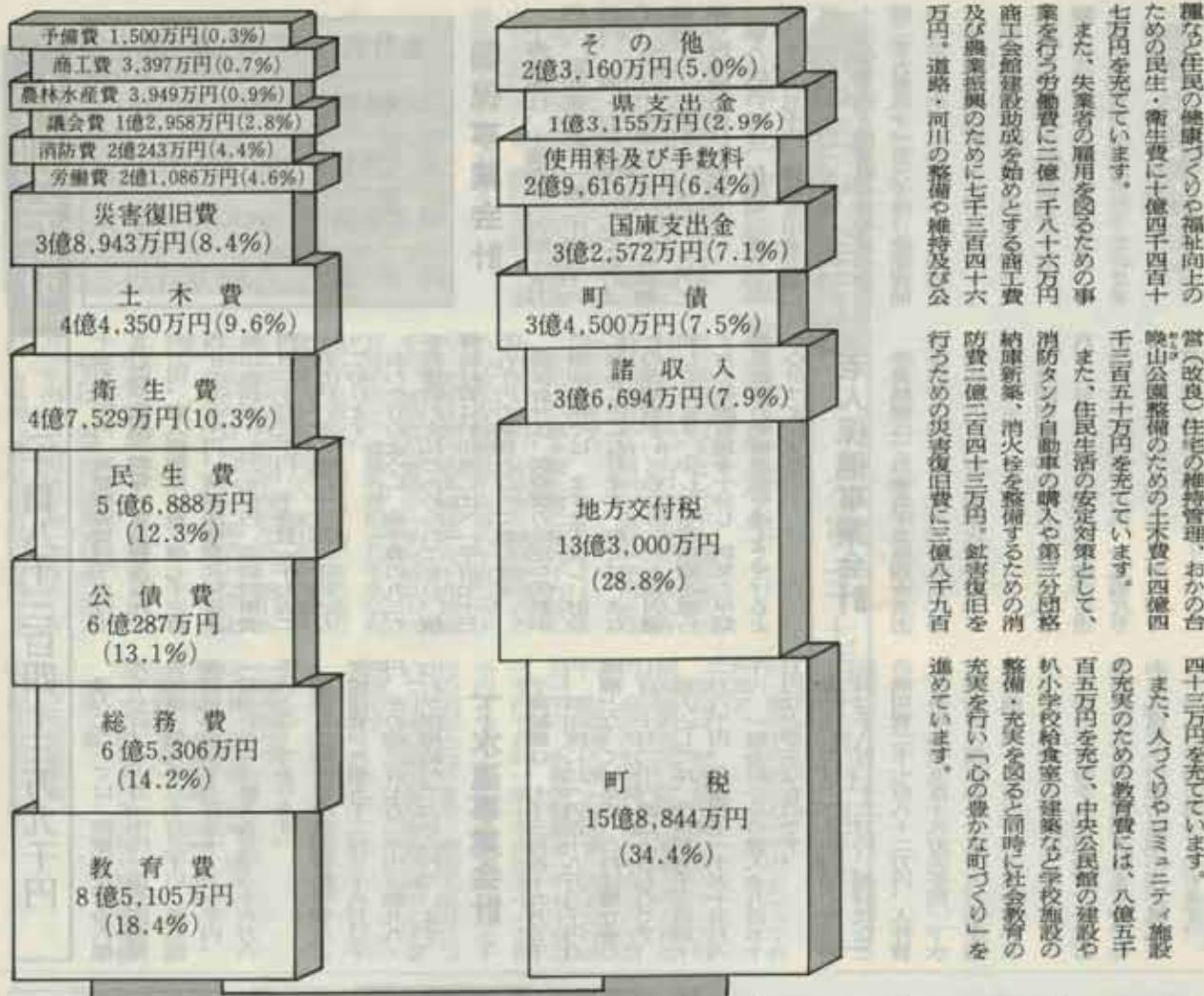
営(改良)住宅の維持管理、おかの台営公園整備のための土木費に四億四千三十五万円を充てています。

また、住民生活の安定対策として、消防タクシーアルトの購入や第三分園格納庫新築・消火栓を整備するための消行うための災害復旧費に三億八千九百

四十三万円を充てています。

また、人づくりやコミュニティ施設の充実のための教育費には、八億五千五百円を充て、中央公民館の建設や

小学校給食室の建築など学校施設の充実を行い、「心の豊かな町づくり」を進めています。



歳出

歳入

46億
1,541万円

町民一人あたりの予算

歳出

歳入



特別会計

二十億八千三百四十三万九千円

会計別	予算額
国民健康保険	10億4,645万円
老人保健	9億5,545万8千円
農業共済	803万6千円
下水道	7,349万5千円

国保事業会計

予算額は、十億四十六万四十五万円

円で、前年度に比べ一億三千四百十八万円、一四・七%の増となっておりま

す。これは、今年の三月一日から診療

報酬が三・三%引き上げられ、これに

伴う医療費の伸びが要因です。

歳入については、医療税三億六千二

百六十万六千円（事務費一千六百五

十八万三千円、療養給付費等負担金三

億三千九百五十一万九千円、助産費補

助金一百六十六万六千円、財政調整交

付金一億五千四百八十五万八千円）、

退職者医療交付金一億三千五百四十九

万円、県営財政補助金五十万円、

機器金五千円、機器金三千円、そ

の他四百十九万七千円となっています。

歳出については、総務費四千三百三

千円、医療費五十八万九千五百八十三円で

予算額成を行いました。

老人保健事業会計

予算額は、九億五千五百四十五万

円で、前年度に比べ六千九百八十二万

円、六・七%の減額となっておりま

す。これは、今年の三月一日から診療

報酬が三・三%引き上げられ、これに

伴う医療費の伸びが要因です。

歳入については、医療税三億六千二

百六十万六千円（事務費一千六百五

十八万三千円、療養給付費等負担金三

億三千九百五十一万九千円、助産費補

助金一百六十六万六千円、財政調整交

付金一億五千四百八十五万八千円）、

退職者医療交付金一億三千五百四十九

万円、県営財政補助金五十万円、

機器金五千円、機器金三千円、そ

の他四百十九万七千円となっています。

万九千円の増加となっております。

国保会計は、医療費の改定や受診率

の増加次第では、ますます苦しい財政

に陥ることになります。町では、あな

たの医療費がいくらかかったか毎月通

知っています。少しでも医療費を減ら

すため健康管理を十分し、病気の早期

発見のため健康診査を進んで受けよう

心がけましょう。

歳出としては、下水処理場の管理委

託料二千八百二十万円、燃替代など

の需用費三千七百八十二万円、人件費

などの事務費五百八十八万六千円、下水

道基金への積立金一千五十五万六千円

その他七十二万三千円となっています。

歳入については、総務費四千三百三

千円、医療費五十八万九千五百八十三円で

予算額成を行いました。

今年の三月分から使用料が、一立方

メートルあたり九十円に改定されますが、な

おも九百五十万円の財源不足が見込まれ、苦しい貢献となつております。

下水道事業会計

予算額は、七千三百四十九万五千

円、前年度に比べ四百十八万三千円の

減額となっています。これは積立金の

七百三十万三千円によるものです。

歳入としては、使用料五千三百四十

二万八千円、基金利息一千五十五万六

千円、一般会計からの繰入金九百五十

万円などが主なもので



卒団お別れ大会



少年団



22チームが熱戦

ソフトボール選手権大会



町内のバレーボール少年団の卒団お別れ大会が、三月十七日・町民体育館で開かれました。

参加したのは町内から五チーム（伊左藤・机・猪飼・頃末・吉田）と招待

三チーム（中間ファースト・猪木ジニア・三葉クラブ）の八チーム。六年生にとって最後の試合とあって、白熱した対戦が繰り広げられました。試合の結果は伊左藤が優勝し、頃末が二位でした。

久し振りの晴れわたったスポーツ和となった三月二十四日、第四回水巻町ソフトボール選手権大会が、町内三会場で開かれました。町内から男子十八チーム、女子四チームが参加し、家族や地区の人の応援をうけ熱戦が繰り広げられ、頃末に好プレーが続出し、楽しい試合となりました。優勝戦では、頃末KSSSが上二を8-4で下し、二回目の優勝を果しました。なお、女子の試合は吉田ノミ三が昨年に続き二連覇を果しました。

農業共済事業会計

予算額は、八百三万六千円で、各勘定の内容は次のとおりです。

農作物勘定 2百57万5千円
水稲の引受け面積自六・五ヘクタール

(前年度比〇・五ヘクタール増)、引受返却百四十六回、每當たり共済金額三百三十円で計上しております。

家畜勘定 4千円
現在加入者がありません。

業務勘定 5百45万5千円

歳入については、県補助金三百六万

麦については、引受け面積十五ヘクタール(前年度比一ヘクタール増)、引受返却は小麦百九十三回、大麦百九十六回、每當たり共済金額百四十円で計上しております。

四手内、利子及び配当金三十九万円、一般会計からの繰入金百七十七万円、諸収入五万四千円、繰越金十七万九千円、歳出については、人件費四百九十一万円、物費五十四万七千円となつております。

本年度も財源不足のため、一般会計から繰入れをいたしております。

から繰入れをいたしております。

水道事業会計

六億二千七百十九万九千円

第三次拡張事業に着手

昭和六十年度の水道事業会計予算是総配水量を二百九十五万立方メートル、給水件数一万二千五百の業務量をもとに編成いたしました。また事業としては、河口堰からの配水に伴う第三次拡張事業の初年度にあたり、設計委託料、工事請負費を計上しております。

円と營業外収入として下水道事業委託料など二百六十六万四千円で、収入合計は四億五千五百六十五万二千円となつております。

支出は、原水購入費二億九千九百七十九万五千円、配水管の維持管理のための給水管費五千五百八十五万六千円、事務経費の検査費五千八十九万四千円、減価償却費等が一千九百五十三万五千円と、營業外費用として支払利息三千五百三十五万三千円、その他の費用自二十五万円で、支出合計四億五千一百六十八万五千円となり、差引き二十九十六万六千円の黒字となります。

◎収益的収入及び支出

収入は、給水使用料四億五十二百三十二万円、その他の収入六十七万七千円、企業債四億五千二百万円、企業債償付金三百三十円で合計四億五千二百三十二万円となりました。

円と營業外収入として下水道事業委託料など二百六十六万四千円で、収入合計は四億五千五百六十五万二千円となつております。

主な建設改良事業

①古賀・須木線
②先端・丸の西線
③建設改良費
(第三次拡張事業)

◎資本的収入及び支出

収入は、鉄道復旧国庫補助金三百三十一万円、口座別納付金一千百六十万円、企業債一億五千四百四十万円で合計四億五千二百三十二万円となりました。

①送配水管新設
②改良工事
(第三次拡張事業)

元気な赤ちゃん



宇塚 優介くん

昭和59年6月30日生

(次郎)さんの長男

(美千代)

大好きなお姉ちゃんが、早く一緒に遊びたいナーナーで、僕、沢山ごはんを食べて早く大きくなるから、それまで待っていてね。お姉ちゃんも広報に載ったんだ——似てるかな。(梅の木田地46株)



谷 幸之輔くん

昭和59年6月23日生

(秀幸)さんの長男

(真佐子)

僕、ハイハイは好きじゃないからやらない。歩行器でお姉ちゃんを追い回すのが、とっても楽しいんだ。早く外を走れるようになりたいナーナー。たくましい男の子になってね…母より。(高松田地1株)

水巻チーム優勝を独占

遠賀郡バレーボール

選手権大会



〔水巻チームの成績〕

▽男子の部 優勝 水巻クラブ
▽女子A 優勝 頃末
▽女子B 優勝 伊左座
▽準優勝 古賀

遠賀郡内のバレーボール・チームが参加して、選手権大会が三月二十四日遠賀町で開かれました。

郡内から十九チームが参加。水巻町からは五チーム(水巻クラブ、頃末・伊左座・猪熊・古賀)が出場し、よく健闘して男子、女子の部とも優勝を果し水巻町のレベルの高さを証明した大會でした。

〔水巻チームの成績〕

深刻化するゴミの処理

みんなで心がけようゴミ減らし



清掃工場は 青息吐息

水巻町では家庭から出されるゴミの処理は、遠賀郡四町との共同で行っていますが、いつたいどれくらいの量があるのでしょうか。

芦屋町山鹿大君にあるゴミ処理施設に持ち込まれるゴミの量は、一日に収集車で約四十四台（一台当たりの積載量は約一・五トン）、重さで約六十六トン、一年間では三万三千三百四十八トンもなります。これは、一家当たりにする八百

トナリになります。日々のゴミが清掃工場において処理されていますが、現工場の処理能力は一日八時間稼働で約四十トン、一日に持ち込まれる量が六十六トンですから現在十六時間のフル操業になっています。

私達のゴミをよくましく引き受け

くれる処理場も昭和四十七年に建設され、十二年頑張っていますが、焼却炉の耐用年数が十五年と老朽化が進み、焼却能力が低下しています。何よりも大変なことは、焼却後の灰の捨て場所があと一年半ぐらいで一杯になることです。

ゴミの再利用と ゴミ減らし

第二ゴミ処理施設の完成まで、現在の施設で賄つて行かなければなりません。そのため、今年の五月から次のとおり、①ゴミの分別収集 ②ゴミ減らし ③ゴミの再利用の計画をたてました。

具体的には、燃えるゴミ、燃えない

資源として 再びよみがえる 空き缶・空きビン

1年間に生産される缶ビールや缶入り飲料水は、約100億個——これを製造するのに鉄が約40万トン、アルミニウムは約4万トンも使われ、さらに鉄やアルミニウムの原料、製造に必要なエネルギー（石油）などは、そのほとんどを海外からの輸入に頼っています。こうしたことを考えると、空き缶の投げ捨ては自然環境を汚すばかりか、省資源という立場から見ても実にもったいないです。

200cc入りのオールアルミ缶1個は1円から2円の価値（スチール缶はその10分の1）があります。

なんとか、みんなの力で回収率を高め、空き缶・空きビンの再利用を図ることともに、環境美化を進めたいものです。

ゴミ、大型ゴミの分別収集を徹底し、さらに日噴、燃えないゴミとして何気なく捨てる空ビン、空カラン等を別途回収して、資源として再利用することにし、ゴミの処理量及び埋立地への投棄量を減らす目的です。

この計画を推進するためには、住民のみなさまの協力がなくては、一歩も進まないと思います。

二十七キロになり、ゴミ収集車の半分強にあたります。

△埋立地 昭和60年度に着工し、昭和63年4月から投棄開始

この第二ゴミ処理施設には、約五十八億二千万円の費用がかかり本町の負担は約十六億九千八百万円が見込まれています。

△焼却施設 昭和61年度に着工し、昭和64年4月から操業開始

こののような状況で、遠賀郡四町では新しいゴミ処理施設の建設に取りかかることにいたしました。建設予定地はこのほど地元住民の協力を得て、岡垣町大字戸切字棚原地内に内定し、次のとおり建設計画が決められました。

【建設計画予定】

この第二ゴミ処理施設の建設には、約五十八億二千万円の費用がかかり本町の負担は約十六億九千八百万円が見込まれています。

△焼却施設 昭和61年度に着工し、昭和64年4月から操業開始

岡垣に第二ゴミ処理場を建設することにいたしました。建設予定地はこのほど地元住民の協力を得て、岡垣町大字戸切字棚原地内に内定し、次のとおり建設計画が決められました。

この第二ゴミ処理施設には、約五十八億二千万円の費用がかかり本町の負担は約十六億九千八百万円が見込まれています。

ピン・カン類の収集日

第1水曜日	猪熊（1区、2区を除く）、猪熊町住 伊左座、みずほ団地、二、二町住、下二、林住宅、入江興産社宅、下二町住
第2水曜日	吉田一、吉田二、吉田団地、 下二5区、6区の一部 机、古賀、新生街、梅ノ木団地、机社宅
第3水曜日	頃末（第4水曜日以外）、高尾団地、立屋敷、樋口、高松団地、おかの台団地、猪熊（1区、2区のみ）
第4水曜日	頃末（旭町、大平、松栄荘） 吉田三、鯉口団地、美吉野団地

ごみは収集日の朝8時までにきめられた場所に出しましょう。収集日以外には出さないで下さい。



5月から空き缶・空きビン
は、決められた日に出して
ください！

燃えるごみ	燃えないごみ	ピン・カン類	粗大ごみ
処理／清掃工場でもやします。 袋 紙くず はきもの 木の葉 その他の燃えるもの	ひも 木の枝はまとめて 木ぎれは束にして	破砕し可燃物は燃却不燃物は埋立 袋 プラスチック かさ 茶わん・皿 けい光管 おもちゃ 植木鉢 新聞 ダンボール 布きれ・毛巾 その他のガラス製品 罐詰	資源の節約に役立てます。 袋又はダンボール あきびん あきカン ガラスくず サラン・調子 ブリキトタン タブレット 本箱 自転車 洗濯機 家庭用 テレビ 冷蔵庫 扇風機 掃除機 カタミ・アルミサッジ等
 袋の口は、 しっかり熱封事 油は布・紙等で吸いとて出して下さい。	 スプレー缶は、底面のおそれが危ります。完全にガスを抜いて出して下さい。	 栓を抜く ピン・缶は中身を全部出して、 分けて出して下さい。	

街ぐるみみんなの力でよい環境

春の防犯運動 4月16日～25日

春の防犯運動が四月十六日から二十

五日までの十日間、実施されます。

今年の運動の重点活動としては、

(1) 風俗環境の浄化
「風俗適正化法」が二月十三日に施行され、スナック等の営業時間が規制されました。利用される方は、違反を助長することのないよう健全

な利用をしましょう。

(2) 個人盗や車両盗の防止

昨年中の折尾警察署管内における刑法犯の九〇・七件は、「強盗」です。(侵入盗七百十一件、非侵入盗二千二百八十六件)——この内、少年が五百四十八人も含まれていることは、注目すべき点です。

(3) 有効な図書の追放
少年に有効な図書などビデオなどを職場や家庭に持ち込まないようにならしょ。



ドロボウは玄関や勝手口から

4月は 河川美化月間

重度心身障害者医療

社会保険の被保険者本人にも適用

水ぬる季節——四月は「河川美化月間」です。川は、私たちにとってかけがえのない生活用水や憩の場を提供してくれて

昭和六十年四月一日から、社会保険の被保険者本人についても重度心身障害者医療費の助成を行うことになりました。

この制度の利用を希望される方は、あらかじめ町に申請をし、認定を受けなければなりません。

〔申請の受付〕

役場住民課国保年金係

〔認定の要件〕

①水巻町内に住所を有すること

②3歳以上65歳以下であること
③障害の程度が次のいずれかに該当すること ④身体障害者手帳一級
又は二級 ⑤療育手帳「A」
⑥医療保険に加入していること
⑦生活保護を受けていないこと
〔申請に必要な書類〕
①健康保険証 ②印鑑
※詳しいことは、国保年金係までお問い合わせください。

広域行政事務組合 職員採用試験

交付を受けよつとする者。なお内
部障害者についてはこれを除く

△相談内容

△採用職名

一般行政職 一名

△受験資格

①昭和34年6月1日以降昭和42年4月1日までの間に生まれた者、

②日本国籍を有し、地方公務員法第16条に該当しない者。

③その他更生相談に関すること

④身体障害者手帳交付に関する判定

⑤その他の相談に関すること

⑥補装具の交付又は修理の要否判定

⑦処方並びに適合判定

⑧更生医療給付要否の判定

⑨身体障害者更生医療施設その他福

祉施設への入所指導

⑩身体障害者手帳交付に関する判定

⑪その他の相談に関すること

⑫申込み用紙請求先及び申込

み先

遠賀・中間地域広域行政事務組合

機務課庶務係(遠賀町大字今古賀松

の本)

△受付期間

5月15日から5月20日まで

平日 9時～17時

土曜日 9時～正午

※この試験についてのお問い合わせは、広域組合庶務係(三九三一三五八)でお答えします。

☆金一封ありがとうございます。
田端、身障手帳及び被保険者手帳

二・野間町住 中島末雄殿

☆書典返しとして

ご冥福をお祈りいたします。

畠山一義

佐々木タミ子殿

身体障害者巡回相談

巡回相談

△とき 4月24日(木)

午前10時～午後2時30分

△ところ 萩原町中央公民館

・猪熊 故・大貝栄藏殿

△対象者 ①身体障害者手帳所持者及び被保険者 ②身体に機能的

な障害を有し、身体障害者手帳の

お知らせコーナー

水巻昔ばなし

(5) 石炭物語

II 請願巡回 II

ふるさと探訪
わたしたちのふるさとは、炭坑と深いつながりをもった町です。昭和9年三好鉱業所までの炭坑について、みなさんに紹介していきます。

むかし炭鉱ではリンチ（私的制裁）を「みせしめ」といっていた。いわゆる私刑拷問の類である。当時、炭鉱は一般社会からかけ離れた別世界であったので、秩序を維持するために今の若い人が想像のできないような、暴力行為がおこなわれていた。

一般にみせしめをうける者は、ヤマの定めた綻に従わない連中で、なかには冤罪者（無実の罪）もいたが、普通は簡単な取り調べのあと、すぐに拷問を加えていた。とくにケツワフ（逃亡者）、坑夫の引き抜き、反抗もの、姦通した者の私刑はひどかった。また盜み、ケンカ、バクチ、スカボラ（なまけ者）なども、その対照になっていた。なかには警察へ突き出されると有罪になる者もいたので、これを警察へ突き出さなくて犯罪者にしないというので、ヤマの取締係は有難く思えといわねばかりに叩いていた。いうなればヤマにはヤマの捕のある治外法権のところがヤマで、当時の官憲はこれを黙認していた。

明治二十一年、立屋敷村に巡査駐在所が水巻で初めて設置された。つづいて同三十三年、水巻村の人口が増加したので県の指示で吉田にも駐在所を設置した。しかし同三十九年、警察分署（本署は若松）を芦屋から折尾へ移転したので、分署の近くにある吉田駐在所は廃止された。ところが三好鉱が水巻村の炭坑の大半を掌中にした明治末

期になると、人口がさらに増加して犯罪者も多くなったので、また吉田に駐在所を置くことになった。そこで検討されたのが請願巡回制度である。

請願巡回とは、明治二十三年に制定された制度で、炭鉱などの大手企業が駐在所の設置を請願すると、その企業内の犯罪を防止する名目で本署から巡回を派遣させていた。しかし駐在所の官舎、巡回の給料、維持費など一切の費用は企業持ちで、表向きは地方税に繰り入れて警察署の運営となっていたが、裏をかえせば企業が全額を負担していた。つまり企業の丸抱えの御用巡回が請願巡回で、今世から考えれば、信じられないウソのような制度であった。

もともと、この制度によって恩恵をうけたのは、皮肉なことに水巻村のような貧乏村であった。それまでの駐在所は、ほとんどの経費は村役場持ちであったのが、請願巡回ともなれば三好炭鉱の負担となるので、村当局としては請願巡回の設置を炭鉱側へ要請していた。ところが炭鉱にしてみれば、すでにヤマには取締係がおって治安を維持しているので、その必要はなかった。一方、村当局としては、人口が増加して犯罪の多くなったのは炭鉱ができたからで、もし炭鉱がなかったならば駐在所の必要はないとの考えがあった。両者によつてすつたもんだの交渉がつづいた末、大正三年、吉田に請願巡回をおくことになった。つづいて立屋敷から机へ移転した駐在所も、請願巡回として頃末へ移転した。

この頃末の請願巡回駐在所は、机との境の字大

西にあった。当時、鉱主三好徳松の実弟で副社長の三好孝宗が、ここに邸宅を新築したので、その門番かわりに邸宅の登り口に請願巡回駐在所が新築された。今は、その豪華な邸宅は取り除かれて荒れにまかせているが、当時の巡回駐在所は今でも空屋のまま放置されている。

なお当時のヤマが治外法権であったことは、帆村に次の話が伝えられている。

たしか日露戦争前であつたという。机のある農家で毎晩のように梨の実が盗まれた。そこで村の青年団が夜警を組んで警戒にあたっていたところ、ある晩、梨の木に登っているヤマの男をみつけた。村の若い衆は、その男を木から引きずりおろして殴打する。叩くの制裁、とうとう叩き殺してしまった。今なれば村の若い衆は殺人罪に問われるところであるが、当時は水巻村助役と巡回で、それに殺された坑夫の取締係長が詰合った結果、盗む方が悪いということで一致し、その場で手打ちをして解決したという。

また同じころ机の農家にいたオナゴン（下働き女）に、同じ郷里からきた若い坑夫が夜遅にかよっていた。当時は他の村から村内の女へかようときは、村の若い衆へ酒を贈るのがしきたりであった。それとは知らずに若者は、ある晩、その家の雨戸を開けているところを、はり込み中の若い衆にみつかって、棒で叩かれ半殺しの目にあつた。これなども今では傷害罪で訴えられて治療費を払われるところであるが、これは区長と取締係で解決しておまけに二人を夫婦にさせてやつたとい